

Google Workspace for Education

予防型のセキュリティで保護を強化

Education Fundamentals* の機能をベースとした Education Standard の高度なセキュリティおよび分析ツールにより、データとプライバシーを予防的に保護し、常に進化するセキュリティリスクから学校コミュニティを守ります。



最新のデジタル脅威の 一歩先に行く。

脅威の予防から発見、修正に至るセキュリティサイクル全体で先を見越して対応します。



セキュリティ管理を一元 化することで、事態を詳 細に把握、制御する。

組み込みのセキュリティ管理機能により、学校コミュニティ全体をデジタルの脅威から常に保護します。



必要な分析情報をさら に多く得る。

ドメイン全体のデータを分析することで、システムの最適化に役立つ知見が得られます。



生徒の安全を守ることの重要性はかつてないほど高まっています。

2005 年以降、1,327 件のデータ漏洩により 2,450 万件の学校記録が流出し、その数は近年大幅に増加しています。*

* 出典:[Comparitech、2020 年 7 月](#)



Google Workspace for Education

安心感を生む高度なセキュリティ機能

Education Standard を導入することで、セキュリティ計画をより予防的なものにできます。高度なセキュリティ管理および分析機能を活用して、データを保護し、プライバシーを保ち、デジタル脅威から学校コミュニティを守ることが可能です。



予防型のセキュリティ

- 問題が発生したらセキュリティセンターダッシュボードを使用して直ちに阻止
- [セキュリティの状況] ページの推奨事項を実装してインシデントを検出
- 調査ツールを使用して発生源を特定し対処することで、スパムやフィッシングなどの潜在的なセキュリティ侵害を修復
- ルールを設定してメールの添付ファイルを自動的にスキャンし、セキュリティサンドボックスで潜在的な脅威を識別



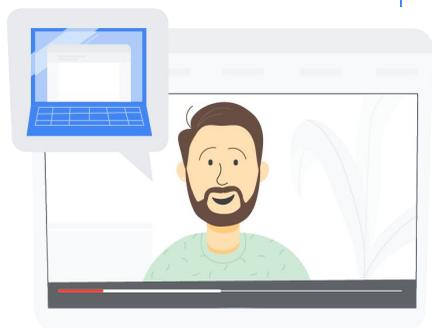
管理機能

- 高度なモバイル管理機能によるデバイスとアプリの管理、監査の実施、ルールの施行などにより、学校のモバイルデータを常に保護
- 必要に応じてデータリージョンを定義してデータを制限または分散
- 高度な権限設定でセキュリティ侵害を阻止し、ファイル共有ルールを事前に設定
- Microsoft Exchange、Microsoft SharePoint、Box、または他の Google Workspace ドメインからユーザーデータとログデータを簡単なデータ移行プロセスで移動
- 動的グループを使用し、グループメンバーをユーザー属性に基づいて自動的に追加または削除



分析と知見

- Gmail と Classroom のログのエクスポート機能を使用してデータを書き出し、BigQuery などのツールで分析することでより多くの知見を獲得
- 高度な監査ログを分析してドメイン全体の使用状況を追跡



より深い学びをサポート。

- 1 [Teaching and Learning Upgrade](#) を付加すると、高度なビデオコミュニケーション機能、授業内容を充実させるための機能、批判的思考と学問的整合性を導くためのツールを教師の方にご利用いただけます。
- 2 強化された教育・学習ツール、予防型のセキュリティと分析機能などを備えた包括的なソリューションである [Education Plus](#) へのアップグレードも可能です。

